

# 2018年 今日までに起きた多くの災害を振り返る

## 【4月9日 島根県西部地震】

4月9日1時32分頃に島根県の西部を震源として発生、最大震度5強を島根県の大田市で観測した。一時は50カ所の避難所が開設され、計171人が避難していた。山陰本線西部の一部区間で運行見合わせとなっていたが、同日17時51分に全線で運行を再開した。



外壁のしっくいのはがれ落ちた長福寺の「お経堂」=島根県大田市波根町(画像:2018.4.9 毎日新聞地方版)

## 【6月18日 大阪府北部地震】

6月18日朝7時58分頃に発生、最大震度6弱を大阪府北区・高槻市・枚方市・茨木市・箕面市の5市区で観測した。高槻市寿栄小学校のプール沿いのブロック塀が倒れ、登校途中の小学生が下敷きになり死亡した。また、西本願寺・東大寺・平等院鳳凰堂などの文化財、石清水八幡宮(国宝)などにおいて破損や倒伏などの被害が生じた。



(画像:2018.6.26 AERAdot.)

## 【6月28日~7月8日 平成30年7月豪雨】

6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方など全国的に広い範囲で記録された台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨。最終的に計11府県で大雨特別警報が発表されるといって広域災害となり、特に被害の大きかった岡山県倉敷市真備町では9月現在も多くの人が避難生活を続けている。



(画像:2018.7.9 FNNPRIME)

## 【7月25日~8月3日 平成30年台風第12号】

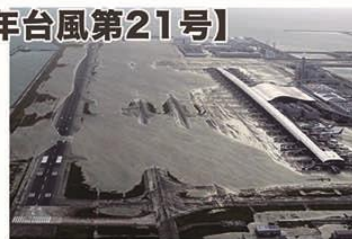
東~西~南と進む異例のコースから、「逆走台風」とも呼ばれた。神奈川小田原市の海沿いの国道135号が高波で冠水したり、三重県海沿いのホテルのレストランの窓ガラスが高波で割れるなどの被害があった。

## 【8月18日~8月24日 平成30年台風第20号】

四国地方を暴風域に巻き込みながら北上し、強い勢力を保ったまま徳島県南部に上陸したのち、兵庫県姫路市付近に再上陸というコースをとった。淡路島では風力発電用の高さ37mの風車が根元から倒れた。京都市の大將軍神社は倒木により拝殿が倒壊。熊野の川湯温泉は現在も休業中。

## 【8月28日~9月4日 平成30年台風第21号】

「非常に強い」勢力で日本に上陸し、近畿・東海・北陸・北海道を中心に記録的な暴風と高潮を記録した。関西国際空港は高潮による滑走路やターミナルビルの浸水、停電などで閉鎖、さらに関西国際空港連絡橋にタンカーが衝突し連絡橋が中破、一時孤立した。9月7日から一部のフライトが再開したが連絡橋復旧は来月以降の予定。



(画像:2018.9.4 毎日新聞東京朝刊)

## 【9月6日 北海道胆振(いぶり) 東部地震】

9月6日午前3時7分59秒、北海道胆振地方中東部を震源として発生した地震である。最大震度は、震度階級で最も高い震度7で、北海道では初めて観測された。震源地にほど近い苫東厚真火力発電所の停止により、北海道全域295万戸が一斉に停電する『ブラックアウト』が起こったが、8日午前までに99%回復した。



(画像:2018.9.6 毎日新聞東京朝刊)

今年は立て続けに多くの災害が起きています。「次の災害」が起きれば関心はそちらに移りがちですが、「前の災害」が収束しているわけではなく、いまでも日本国内のあちこちで、多くの人が難儀を被ったまま不安な日々を送っていることを忘れずに行いたいと思います。



MONTHLY

「東北に黒糖を送ろう!大作戦しんぶん」改め  
復興支援『すけさきた』  
かめらぼん しんぶん

「すけさきた」とは  
宮城県登米市あたりの言葉で  
「ボランティアに来たよ」という  
意味である



被害に遭われた多くの皆様にお見舞い申し上げます。一日も早く平穏な毎日を取り戻されますことをお祈り申し上げます。